

つくば R8 アイディアソン募集要項

—周辺市街地で地域づくりのアイデアを実証する—

1. 趣旨

(1) 背景・目的

つくば市には、市町村合併以前から生活の拠点として栄えてきた8つの市街地（北条・小田・大曾根・吉沼・上郷・栄・谷田部・高見原）があり、今は市の周辺部に位置することから「周辺市街地（愛称：R8）」と呼んでいます。歴史や文化、豊かな自然といったかけがえのない魅力を持っている周辺市街地ですが、近年では少子高齢化や社会情勢の変化により、地域活力の低下が課題となっています。

そのような中、R8 では地域の皆さんが主役となってまちづくりを行う機運が高まり、8つの周辺市街地活性化協議会（以下、協議会）が設立され、様々な地域づくり活動により、その価値が見直され始めています。

本事業は、R8 の地域資源を活かした地域づくり活動の企画から実証まで行う人材を市内外から広く募集し、多様な人材の参画による持続可能な地域づくりを促進することを目的に実施します。

(2) 対象地域

吉沼（よしぬま）

豊かな自然の恵みが特産品として結実

上郷（かみごう）

小貝川沿いの自然と歴史、文化が集積

谷田部（やたべ）

江戸時代の発明家飯塚伊賀七の故郷

高見原（たかみはら）

JR 牛久駅が最寄り自然が身近なまち



北条（ほうじょう）

門前町として発展し今なお風情を残す

小田（おだ）

城址や登山口など観光資源が豊富！

大曾根（おおぞね）

歴史ある街道大樹が残るまち

栄（さかえ）

長屋門など歴史的建物が残る

引用：「つくばスタイル CRAFT」

周辺市街地の魅力をより知るには？

■つくば市ホームページ
「周辺市街地のまちづくり」



■facebook ページ
「つくば R8」



■YouTube チャンネル
「つくば R8 チャンネル」



2. 実施内容

(1) 概要

周辺市街地の魅力を活かした地域づくり活動を、参加者同士でチームになり、企画から実証まで行います。

アイデアの実証にあたり、各チーム（代表者）が本事業の運営事務局である（株）ミカミと委託契約を結び、最終発表で優秀賞に選ばれた2チームには実証委託費として最大30万円、ほか6チームには最大20万円が支給されるほか、メンター、有識者、各周辺市街地の協議会の皆さんがサポートしていきます。

- ※ アイデアによっては法規制等を確認ののち、実証内容の一部を変更していただく場合があります。
- ※ 8チームの選定を想定していますが、実証が困難であると判断される場合など、選定数が想定を下回る可能性がありますので、ご了承ください。
- ※ 実証委託費は p.9 記載のとおり対象外となる経費がありますのでご注意ください。

アイデアソン【ideathon】とは？

アイデア（idea）とマラソン（marathon）を掛け合わせた造語であり、一定の期間内で特定のテーマについてチームごとにアイデアを出し合い、共同作業で問題解決を図る催しを指す。

（参考）goo 国語辞書

R8 アイデアソンでは、各周辺市街地での新たな地域づくり活動をテーマに企画だけでなく、実証まで挑戦します。



(2) 実施スケジュール

| 月日 | 場所 | 内容 |
|------------------------|---------------------|--|
| 4月11(月)～ 5月29日(日) | — | 募集期間 p.5掲載の応募フォームからご応募ください。 |
| 6/12(日) 13:00～16:30 | 市庁舎 | Day1 地域づくりの先進事例から学ぶ! ① 講義 ② 自己紹介&ワークショップ |
| 6/19(日) 13:00～17:00 | 市庁舎 | Day2 アイディアをブラッシュアップして発表! ① アイディア発表準備 ② 参加者全員によるアイディア発表&投票 ③ 投票・審査Ⅰ結果発表 ④ 交流会にて8つのチームを結成 |
| | — | 参加者追加募集 Day2を通過したアイディアの実証に向けて、各チームの状況に応じてメンバーの追加募集を実施 |
| 7月中旬 | 各周辺 市街地 | Day3 チームごとに現地フィールドワーク! 対象とする周辺市街地に現地集合し、地域の人たち(協議会)と現地フィールドワーク&ワークショップ |
| | | 各チームで最終プラン発表の準備 |
| 7/30(土) 13:00～16:30 | イーアス ホール (予定) | Day4 最終プラン発表&表彰! ① 各チームで発表準備 ② 最終発表 ③ 審査Ⅱ結果発表&表彰式 |
| 8月 | — | 実証事業内容について協議 チーム代表者と運営事務局にて実証委託費で実証する内容を協議。詳細の確定後、実証委託費の支給 |
| 9月～ 翌年2月末 | 各周辺 市街地 | アイディアの実証 各チームと協議会が協働し、 2023年2月末まで にアイディアを実証 |
| 2月中旬 | 市庁舎 (予定) | つくばR8地域会議 各チームによる成果報告 |
| 3月 | — | 実績報告書提出 |

※ 新型コロナウイルス感染症の状況により、内容の一部がオンライン開催になる可能性があります。

(3) メンター

ファシリテーター/メンター

堀下 恭平（ほりした きょうへい）氏（株式会社しびっくぱわー 代表取締役社長）

1990年熊本生まれ。大学在学中、2016年12月コワーキングプレイス Tsukuba Place Lab を創業。オープンから5年が経ち、企画運営したイベントは1,600本以上、利用者は16,000人を突破。2018年10月つくば駅前コワーキング up Tsukuba を創業。2021年4月からつくばスタートアップパークを運営。株式会社しびっくぱわー代表取締役。TSUKUBA CONNÉCT operation manager。令和元年度茨城県表彰 新しいいばらきづくり表彰 産業振興 受賞。総務省認定 地域力創造アドバイザー。

メンター

菅原 広豊（すがわら ひろと）氏（茨城移住計画 代表／Hitachifrogs 代表）

1984年生まれ。秋田県秋田市出身。茨城県日立市在住。大学卒業後、大手ディベロッパー、社会インフラの営業を経験。2020年4月に独立。「誰もが才能や強みを発揮する社会をつくる」がミッション。FROGS社イノベーター育成者ライセンス第1号取得者。年間100件以上の学生メンタリング。人それぞれに合った適切な人と場のマッチングが強み。現在も地域のコネクターとして、茨城県内だけではなく県外も含め多種多様な人をつないでいる。

3. アイディアの審査について

(1) 審査の流れ

全4日間のうち、2日目に審査Ⅰを、4日目に審査Ⅱを行います。

- ・ 審査Ⅰ：参加者による投票と審査員による審査で実証する8つのアイディアを選定します。※1市街地につき1アイディアを選定します。
- ・ 審査Ⅱ：ブラッシュアップした8つのアイディアについて、審査員による審査をおこない、優秀賞2案を選定します。

(2) 審査基準

| 評価項目 | 評価視点 |
|------|-------------------------------|
| 地域性 | 地域資源をうまく活用するなど、地域らしさのあるアイディアか |
| | 地域との連携が図れるアイディアか |
| 企画力 | 新規性があり、魅力的なものか |
| | 市内外に地域の魅力をプロモーションできるアイディアか |
| 実現性 | 具体的で実現性の高い計画が立てられているか |
| | 事業を実施できる体制の見込みがあるか |
| 継続性 | 実証期間終了後も事業として継続することは可能か |
| | 他地域に事業モデルとして波及するなどの発展性はあるか |

(3) 審査員

蓮見 孝（はすみ たかし）氏
西野 由希子（にしの ゆきこ）氏
堀田 誉（ほった ほまれ）氏
江本 珠理（えもと じゅり）氏
菅原 広豊（すがわら ひろと）氏

筑波大学名誉教授
茨城大学 人文社会科学部教授
株式会社 Co-Lab 共同代表（審査Ⅱのみ）
合同会社 for here 代表
茨城移住計画代表（審査Ⅰのみ）
Hitachifrogs 代表

4. 応募方法

(1) 応募対象者

周辺市街地の地域づくりに関心があり、地域の人たちと連携して、企画から実証まで行ってみたいという熱意がある方。なお、アイディアソンは4日間の連続したプログラムとなっているため、原則すべてご参加ください。また、審査Ⅰで提案されたアイデアが選ばれた場合、チーム代表者としてアイデアの実証に挑戦していただきます。

- ・ 周辺市街地を元気にしてみたい方
- ・ 地域づくりのアイデアを企画から実現まで実行してみたい方
- ・ 地域づくりに興味のある人たちと出会いたい方
- ・ 地域づくりのメンターから学び、実践したい方
- ・ 地域住民の協力を得ながら、地域づくりをしてみたい方

など分野や経験の有無を問わず、多様な人材を募集します。

(学生可。未成年の場合、保護者の同意を得た上でご応募ください。)

※ 以下に該当する方は、応募できません。

(ア・イについては、本事業がR8への新規参画を促す目的であるため対象外)

ア. つくばR8地域活性化プランコンペティション採択者

イ. 周辺市街地活性化協議会会員

ウ. 反社会的勢力と関わりのある者

エ. 市税や都道府県税、所得税、法人税及び消費税等の滞納がある者

(2) 募集人数

30名程度 ※応募多数の場合、書類選考を実施することがあります。

応募結果については募集期間後に事務局からご連絡いたします。

(3) 募集期間

2022年4月11日(月)～2022年5月29日(日)まで

(4) 参加費用

無料

ただし、交通費等の参加に関する各種費用は自己負担となります。

(5) 応募方法

下記リンクまたはQRコードからGoogleフォームにて応募下さい。

(<https://forms.gle/TBcUqVwHFT8xJYga6>)



【参加申し込みフォーム】の記入内容

| | |
|-----------------------|--|
| ア. 基本情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 氏名 ・ 年齢 ・ 連絡先 ・ 住所 |
| イ. 応募動機 | <p>(例) 周辺市街地を元気にしてみたい。 地域づくりのアイデアを企画から実現まで実行してみたい。 地域づくりに興味のある人たちと出会いたい。 地域づくりのメンターから学び、実践したい。 地域住民の協力を得ながら、地域づくりをしてみたい。</p> |
| ウ. 具体的にやりたいこと | <p>(例) R8 の特産品を使った商品開発をしたい。 得意なことを生かして地域と関わりたい。</p> |
| エ. 興味のある地域 (複数選択可) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動してみたい地域または協議会があれば、第3希望まで選んでください。ワークショップのグループ分けの参考とさせていただきます。ありがとうございます。 |
| オ. 類似経験や得意なこと | <p>(例) ○○地域のまちづくり活動に携わったことがある。 デザイン、マーケティング、プロモーション、コピーライティングなどが得意。</p> |

(6) 留意点

- ・ 当事業の様子は、広報誌やホームページなどにて一般に公開する可能性がありますので、写真などの掲載について、ご了承いただきますようお願い申し上げます。
- ・ 応募時にご提出いただく個人情報に関しては、本事業に関する連絡など、運営に使用し、厳重に管理するとともに、本人の許可なく公表はしないものとします。
- ・ アイデアソンで作り上げたプランの著作権は個人には帰属しないことをご了承ください。
- ・ 応募期間後に運営事務局から連絡をしますので、「@mikami-web.co.jp」からのメールを受信できるよう、設定をご確認ください。

5. 実証事業の開始

(1) 実証期間（実証委託費からの支出が可能な期間）

2023年2月末日までとします。実証期間内に事業の実施をお願いします。

(2) 市・運営事務局のサポート

実証期間中（2023年2月末日まで）以下のサポートを行います。

① メンター・有識者からのアドバイス

アイディアの実証にあたり、メンターや有識者からアドバイスを受ける機会を設けます。

② 契約・実証委託費の支給

実証チームの代表者と運営事務局とで委託契約を締結します。実証チーム代表者に実証委託費を支給します。

③ 広報・周知などの支援

必要に応じて、つくば市公式ホームページや SNS、広報つくば等による PR 等の支援を行います。

※ 実証期間後も事業を継続する場合、令和5年度中（2024年3月末まで）は市からの広報支援が受けられます。

④ 地域連携支援

実証チームは協議会の協力を得て実証事業を実施していただきます。実証事業活動にあたっては、地域づくり活動が展開しやすいよう、必要に応じて地域住民との顔合わせの機会を設けるなど、地域との橋渡しを支援します。

⑤ その他

R8 の地域づくり活動についての情報共有などの支援を受けることができます。

(3) 進捗報告

実証チームは実証事業の実施状況について適宜、報告をしていただきます。

① 地域への進捗報告

協議会の定例会等で事業の進捗報告をしていただきます。

② 成果発表（経過報告）

つくば R8 地域会議（2023年2月開催予定）で報告をしていただきます。

③ 実績報告

実証期間満了後に実績報告書を提出していただきます。

④ その他

当事業の改善を目的としたアンケート調査などにご協力いただきます。

6. お問い合わせ

(1) 運営事務局

つくば R8 アイディアソンについては下記までお問い合わせください。

株式会社ミカミ
〒311-4153 茨城県水戸市河和田町 4471-45
TEL : 029-253-9015
Mail : tsukuba-r8@mikami-web.co.jp

(2) 主催

その他のご不明な点は以下までお問い合わせください。

つくば市 都市計画部 周辺市街地振興課
〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL : 029-883-1111 (代表)

(別添資料)

【実証委託費対象経費一覧】

- ・ 人件費：事業実施のために支払われた賃金等
 - ※ 実証チームの構成員及び常時雇用者に支払われる費用は認められません。
- ・ 報償費：事業実施に必要な講師、専門家等への謝礼等
 - ※ 1人1日当たり50千円を上限とし、総額は委託費の50%以内とします。
- ・ 旅費：講師等の不可欠と認められる交通費等
- ・ 需用費：チラシやポスター、報告書等作成費及び印刷費並びに材料、消耗品（1万円未満）等の購入費等
- ・ 委託料：事業実施に必要な委託料等
 - ※ 事業全ての委託は認めません。
- ・ 役務費：運搬に係る経費、行事保険料等
- ・ 使用料・賃借料：事業実施のために必要な賃借料（場所・機器類等）・会場使用料
- ・ その他つくば市が必要と認める経費：
 - ※上記経費以外で、事業の実施に不可欠な経費がある場合はご相談ください。

【実証委託費対象外経費一覧】

以下の経費は実証委託費で支払うことはできませんので予めご了承ください。

- ・ 法人・団体等の経常経費
- ・ 飲食費
- ・ 土地の購入に要する経費、補償費
- ・ 備品（1万円以上）購入費
 - ※ ただし、リース（賃借料）は可
- ・ 修繕・工事費
- ・ その他つくば市が適当と認めない経費
 - ※上記経費への支出が必要な場合は、自己資金等で対応する計画としてください。